

留学報告

足立 裕次郎（修士課程 2 年）

留学期間:2022 年 9 月～2022 年 12 月

留学先:Imperial College London



私は、2022 年の 9 月より4ヶ月間、イギリス・ロンドンにある Imperial College London に 1 タームの間留学いたしました。Imperial College London は、イギリスの伝統的な理工系の大学の一つで、ロンドンの一等地、サウスケンジントンに位置しています。工学部、理学部、医学部のほか、ビジネススクールなどの学科があります。海洋技術環境学専攻との交換留学協定に基づき、Department of Chemical Engineering、化学工学科に所属しました。



Imperial College London の校舎



新入生歓迎の様子

ロンドンでの生活

Imperial College London から徒歩 25 分ほど、Notting Hill の宿に宿泊しました。通学路はハイドパークを縦断し、ロイヤルアルバートホール横を通る道なので、毎朝公園の散歩を楽しみました。冬になり日が短く曇りがちなロンドンの天候に悩まされながらも、ビタミン剤などを飲みつつ気持ちを保って活動しました。



ハイドパークの様子



授業後に質問に集まる学生たち

授業

Department of Chemical Engineering の講義の他に、ビジネススクールの講義も履修しました。授業は全体的にディスカッションやグループワークが多く、学生は積極的に議論に参加していました。自分の意見をはっきりと持ちそれを積極的に主張していく姿勢や、疑問があったときには恥ずかしくらずに質問する姿勢など、日本とは異なる姿勢がたくさん見受けられました。一方でグループワークにおいては、個人個人が異なることを主張するため全体として一貫した方向性を見出すことが難しく、上手く協調ができずに成果物の完成度が下がってしまうことが多くありました。

課外活動

• Society

Imperial College London には、Society と呼ばれる部活動・サークル活動が存在します。日本の大学と同じように、運動部や文化部など様々な Society が存在し新歓を行なっていました。

私は留学中 Japan Society、Judo Society に参加しました。Japan Society は Imperial College に通う日本人や日本が好きな学生が参加するサークルで、たくさんの友人を作ることができました。



Society のメンバーと共に、ワールドカップを鑑賞



学会の様子

・学会参加

留学期間中の 11 月、海洋再生可能エネルギーの国際学会に参加するため、ポルトガル・リスボンまで出張しました。論文発表を行い、同じ分野で研究に取り組む仲間と出会ったほか、研究に関するアドバイスもいただきました。

発表の合間の休憩時間にはコーヒーやビスケットが用意され、他の研究者と交流する機会がたくさんありました。

自分が突き詰めて取り組んだ研究に対し目をキラキラさせて聞いてくれる人がいることや、研究内容を生き生きと発表する人が多いことに感心し、好きなことを突き詰めることが仕事になるという研究の醍醐味を感じることができました。

・観光

授業の合間や留学の前後の期間を用い観光を楽しみました。ヨーロッパの観光や、オーケストラ、バレエ鑑賞などを行いました。

留学全体を通して、今まで当たり前だと思っていた凝り固まった価値観や思い込みが打ち壊され、他者に対し、よりその人自身をまっすぐ見ることができるようになりました。

